馬とふれあう楽しい１日
あそぼう！わくわくライディング
10月12日／ライディングヒルズ静内

今年２回目の「わくわくライディング」が開かれ、親子連れなど約 200 人が来場し、乗馬体験やポニー馬車、馬とのふれあいなどを楽しみました。

初めは大きな馬を前に緊張気味の子どもたちも、ニンジンをあげたり、顔をなでたりしながら少しずつ笑顔に。そして「うまうま体重当てコンテスト」には食いしん坊なポニーの女の子ハナコが登場。ニンジンをたくさん食べたこの日の体重は 449 kgで、450 kgと予想した２人がニアピン賞となり、会場からは拍手が送られました。

小学生クラス大会歴代最高記録を更新
第51回シベチャリ駅伝大会
10月４日／みゆき通り発着周回コース

第51回シベチャリ駅伝大会が開かれ、かけっこ競争に小学１・２年生15人、駅伝に31チームが出場しました。

少年団やＪＢＢＡ研修生、教員、自衛隊など年齢も所属もさまざまなチームが参加した駅伝では、１人約２㎞の周回コースをチーム５人でタスキをつないで疾走。沿道から力強い声援が送られる中、高静サッカー少年団ホワイトチームが小学生クラスの大会歴代最高記録を７秒更新する36分06秒でゴールし、会場は大いに盛り上がりました。

人生を変えたジュウリョクピエロとの出会い
今村聖奈騎手トークイベント
９月28日／ピュアプラザ（わが町生産馬応援団主催）

第 87 回オークスでジュウリョクピエロ号（飛野牧場生産）に騎乗し、JRA 女性騎手として初のＧⅠ制覇を成し遂げた今村聖奈騎手のトークイベントが開かれ、約 250 人が来場しました。

イベントでは、オークスのジョッキーカメラ映像を見ながらレースを解説。当時の心境や馬産地への感謝の思いを語ったほか、馬術に励む若者からはプレッシャーとの向き合い方や上達の方法などたくさんの質問が寄せられ、笑顔を見せながらも真剣な眼差しで答えていました。

NEWS ニュース・フラッシュ FLASH

トークイベント前には観光情報センターでオークス優勝写真パネル展除幕式に参加。寺島調教師とともにテープカットを行いました。

善意に感謝します

次の方々から温かいご厚志が寄せられました。
（順不同・敬称略）

■ **観光振興資金および滞在・移住促進資金として**
新ひだか建設協会（会長　幌村司）

■ **新ひだか町の未来をけん引する人づくり事業資金として**
㈱ビーロット（代表取締役会長　宮内誠）

■ **保健活動資金として**
明治安田生命保険相互会社（苫小牧支社長　掛水洋）

■ **特別養護老人ホーム蓬莱荘用 介護用具一式**
日高信用金庫（理事長　新保雄司）

■ **図書館三石分館用 児童図書**
日高信用金庫（理事長　新保雄司）

■ **三石小学校環境整備（暗幕修繕）**
幌村建設㈱（代表取締役　幌村司）

■ **旧図書館三石分館草刈り作業**
㈱三浦興産（代表取締役　三浦昌安）

新ひだか建設協会

明治安田生命保険相互会社

㈱三浦興産

健康プラットフォーム構想を推進
国保連・㈱ミラボと連携協定締結
10月13日／役場静内庁舎

国民健康保険団体連合会・㈱ミラボ・新ひだか町の三者による「新ひだか町版健康プラットフォーム構想の推進に関する三社連携協定」が締結されました。

この協定は、市町村を支援し、社会保障制度を支える国保連合会と、デジタルの分野で子育て支援サービスなどを展開しているミラボ、住民の相談・支援窓口となる町が協働し、子どもから高齢者まで切れ目のない支援の実現に関する取り組みを進めることを目的としています。

しかけ絵本ワークショップ（図書館）

石のハンコ教室（田畑印章房）

まちの「プロ」から楽しく学ぶ
第８回新ひだかまちゼミ
９月10日～10月10日／町内各事業所

地域のお店の人などが講師となって、その道のプロならではのコツや専門知識をレクチャーする「新ひだか得する街のゼミナール」通称「まちゼミ」が開かれ、多彩な講座で参加者を楽しませました。

まちゼミは、１回５人前後と少人数制の講座のため、コミュニケーションを通じてお店の魅力や店主の人柄も知ることができるのが特徴。今年は「ウマ娘から学ぶ競馬のロマン」や「石のハンコ教室」など全 28 講座を実施。まちゼミ実行委員会の仁岸さんは「町内の良いお店や事業をもっと知ってもらいたいという思いで続けている。今後も楽しみながら続けていきたい」と話しました。

ウマ娘から学ぶ競馬のロマン（ヘアーサロンニギシ）